




## 2020年度 主題B「現代社会の諸課題」 リーディングリスト

- \*各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント (80~100字程度) / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
  - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


リーディングリストに掲載されている本は、主に中央図書館2Fの特設コーナー(ゲートを抜けて、突き当りを左折)に配架されています。一部、この場所に配架されていない本もありますので、見つからない場合は図書館HPの蔵書検索で配置場所を確認してください。


- (1) 【新】七木田 敦, ジュディス・ダンカン 2015年 「子育て先進国」ニュージーランドの保育—歴史と文化が紡ぐ家族支援と幼児教育 福村出版
- (2) 関連する主題: 主題B-2
- (3) キーワード: ニュージーランド、保育
- (4) 難易度: 
- (5) ニュージーランドの研究者と日本の研究者が協同して刊行した著作。世界的に注目されているニュージーランドの保育を文化的背景から読み取って紹介している。
- (6) 推薦者: 松井剛太、教育学部


- (1) 【新】マーガレット カー, ウェンディ リー 2020年 学び手はいかにアイデンティティを構築していくか: 保幼小におけるアセスメント実践「学びの物語」 ひとなる書房
- (2) 関連する主題: 主題B-2
- (3) キーワード: ニュージーランド、アセスメント、学び
- (4) 難易度: 
- (5) ニュージーランドのアセスメントであるラーニングストーリーの哲学と実践が示された訳書。保幼小の実践が豊富に掲載されており、日本の教育・保育のあり方を問い直すきっかけになる。
- (6) 推薦者: 松井剛太、教育学部


- (1) アセモグルほか, マクロ経済学, 東洋経済, 2019.
- (2) 関連する主題: 主題B-2 (裕福な国と貧しい国, 制度と起業家精神)
- (3) キーワード: 包括的制度和収奪的制度, 取引費用, 経済成長,
- (4) 難易度: 
- (5) 2030年目標のSDGsを進めていくうえでエッセンシャル。ノーベル賞(経済学)の候補者の著書。第1部にはミクロ経済学のイントロも。
- (6) 推薦者: 亀山宏(農学部)

- \*各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
  - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- (1) 『巡礼の歴史と現在—四国遍路と世界の巡礼』岩田書院 (2013)  
「西洋人の目で見えた四国遍路～大正中期から昭和初期まで～」モートン常慈 pp109-126
- (2) 関連する主題: 主題 B-2
- (3) キーワード: 四国遍路、外国人、フレデリック・スタール、アルフレッド・ボナー
- (4) 難易度: 
- (5) 約 100 年前に始めての西洋人として四国遍路をした二人の動機、遍路経験や感想について学べる。
- (6) 推薦者: モートン常慈 (徳島大学教養教育院)


- (1) 『回遊型巡礼の道・四国遍路を世界遺産に』ブックエンド (2017)  
「四国遍路の魅力を世界に伝えた西洋人～オリバー・スタットラーの功績を中心に」
- (2) 関連する主題: 主題 B-2
- (3) キーワード: 四国遍路、外国人、オリバー・スタットラー
- (4) 難易度: 
- (5) 四国遍路を誰よりも世界に発信した日本研究家のスタットラーの遍路活動や功績について学べる。
- (6) 推薦者: モートン常慈 (徳島大学教養教育院)


- (1) 【新】『四国遍路の世界』筑摩書房 (2020) (880 円)  
「第 11 講: 四国遍路と外国人」p.193-207
- (2) 関連する主題: 主題 B-2
- (3) キーワード: 外国人遍路、フレデリック・スタール、アルフレッド・ボナー、オリバー・スタットラー
- (4) 難易度: 
- (5) 外国人と四国遍路の歴史、外国人遍路の実態、今度の課題と最近の傾向等について学べる。  
四国遍路に関する多くの課題を分かりやすく書いてあるので、お勧めします。
- (6) 推薦者: モートン常慈 (徳島大学教養教育院)


- (1) 【新】大学論を組み替える
- (2) 関連する主題: 主題 B-3
- (3) キーワード: 大学教育改革の是非
- (4) 難易度: 
- (5) 「大学教育を考える」の授業では、文部科学省が進めている教育改革の取り組みについて学びましたが、取り組みの問題点についても考えることは重要です。授業で取り扱った内容を異なる角度から考えるきっかけになります。
- (6) 推薦者: 吉田博、徳島大学高等教育研究センター

- \*各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
  - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】 明治・大正 詩集の装幀  
(2) 関連する主題: 主題B-4  
(3) キーワード: 近代詩、装幀  
(4) 難易度:   
(5) 明治の文明開化は、思想・哲学を戴いた「近代詩」とともに、「近代絵画」としての装幀をもたらした。素晴らしくおしゃれな装幀とともに、和歌・俳諧とは別の新たな「歌」がやってきたのである。  
(6) 推薦者: 渡邊史郎

- (1) 近現代詩歌 (池澤夏樹=個人編集 日本文学全集 29)  
(2) 関連する主題: 主題B-4  
(3) キーワード: 近現代詩、短歌、俳句  
(4) 難易度:   
(5) 池澤夏樹、穂村弘、小澤寛がそれぞれ詩・短歌・俳句を50作品選んだアンソロジー。文学はアンソロジーから入るべしという意見には反対だ。しかし、自分の好みを発見するにはいいと思う。  
(6) 推薦者: 渡邊史郎

- (1) 【新】 ケネス・J・ガーゲン&メアリー・ガーゲン (伊藤守監訳) (2018年) 『現実はいつも対話から生まれる』、ディスカヴァー・トゥエンティワン  
(2) 関連する主題: 主題B-4  
(3) キーワード: 社会構成主義、対話  
(4) 難易度:   
(5) 「現実社会的に構成される」と言われると、疑問に思いませんか。本書は、現実を語りと相互行為のプロセスの中で構成され続けることとする社会構成主義の入門書です。もちろん、構成されない、あるいはできないこともあります。そのことも考えながら、本書を読んでみてください。  
(6) 推薦者: 小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 小林 昭夫, 1988, ヒコーキで知る飛行の原理—身近に学ぶ航空力学 (ブルーバックス), 講談社  
(2) 関連する主題: 主題B-4  
(3) キーワード: 安定性, 揚力  
(4) 難易度:   
(5) 飛行機にかかる力、主翼や尾翼、舵の役割を詳しく解説しているので、授業の後半がわかりやすくなります。厚紙組み立て紙飛行機的设计法の部分は、折り紙飛行機にも応用できて良いです。  
(6) 推薦者: 岩本 幸治 (愛媛大学工学部)

- \*各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
  - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- ※ (1) ヘンク テネケス著, 高橋 健次訳, 1999, 鳥と飛行機どこがちがうか—飛行の科学入門, 草思社
- (2) 関連する主題: 主題 B-4
- (3) キーワード: 揚力, 鳥
- (4) 難易度: 🌶️🌶️
- (5) 27 ページの図 2「飛行相関図」が素晴らしい。両対数グラフで直線に乗るデータは、適切な無次元化をすれば全てのデータが同じ数値をとる、という流れの相似則を表しています。
- (6) 推薦者: 岩本 幸治 (愛媛大学工学部)


- (1) 藤家洋一著 「原子力」 ERC 出版 2005 年刊
- (2) 関連する主題: 主題 B-4
- (3) キーワード: 放射線 エネルギー 核分裂 核融合
- (4) 難易度: 🌶️🌶️
- (5) 原子力について、事実を客観的に理解するためにやさしく書いてある。原子力に関連する問題に対して、サイエンスの立場からきちんとした意見を言うために、ぜひ勉強してほしい。
- (6) 推薦者: 田中寿郎 (愛媛大学)


- ※ (1) Alan E Waltar, "Radiation and Modern Life" 2004 Prometheus Book
- (2) 関連する主題: 主題 B-4
- (3) キーワード: Radiation Radioactive materials, basic principles of radioactivities, application of radioactivity
- (4) 難易度: 🌶️🌶️
- (5) 私たちの生活の中で、放射線や放射性物質がどのように使われているのか、分かりやすく書いてある。ぜひ、一読してください。英語で書いてありますが、レンジしてみてください。
- (6) 推薦者: 田中寿郎 (愛媛大学)


- (1) 【新】「生物多様性概論 —自然のしくみと社会のとりくみ—」朝倉書店 978-4254171648
- (2) 関連する主題: 主題 B-5
- (3) キーワード: 生物多様性
- (4) 難易度: 🌶️🌶️
- (5) 生物多様性とそれを取り巻く社会や環境の問題をわかりやすく解説している入門書。
- (6) 推薦者: 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)

- \*各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
  - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- (1) 【新】「ネコ・かわいい殺し屋—生態系への影響を科学する」築地書館 978-4806715801
- (2) 関連する主題: 主題 B-5
- (3) キーワード: 外来種
- (4) 難易度: 
- (5) 講義内でも触れているノネコ問題は、世界共通の大きな問題であるが、何が問題なのか、どう解決させていくべきかが判る。感情論ではなく事実に基づいた良書。
- (6) 推薦者: 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)


- (1) 【新】「侵略! 外来いきもの図鑑 もてあそばれた者たちの逆襲」パルコ 978-4865062922
- (2) 関連する主題: 主題 B-5
- (3) キーワード: 外来種
- (4) 難易度: 
- (5) 子供向けの、漫画が主体の書籍であるが、現在市販されている外来生物の書籍の中で最も解りやすく最も網羅的なものである。外来生物の専門家が監修していることから、内容に間違いがなく最新の知見が含まれている。
- (6) 推薦者: 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)

- (1) 【新】 編者: Bruce Alberts,他, 出版年: 2017年, 書名: THE CELL 細胞の分子生物学 第6版 (日本語), 出版社: ニュートンプレス
- (2) 関連する主題: 主題 B-5
- (3) キーワード: ゲノム・タンパク質・細胞・生物
- (4) 難易度: 
- (5) バイオに興味を持っている皆さんにとって、分子生物学の基本的知識を持つことは必須です。この本は、この授業で取り上げている内容をより体系的に、より深く学ぶ際に是非参考参考にして頂きたい書籍です。
- (6) 推薦者: 愛媛大学プロテオサイエンスセンター・坪井敬文

- (1) 大橋俊夫・河合桂子著 (2016年) 『生きているしくみがわかる生理学』医学書院
- (2) 関連する主題: 主題 B-6 (人間と健康を考える生理学)
- (3) キーワード: 人体のしくみ、生理学
- (4) 難易度: 
- (5) 生理学とは体のはたらきの仕組みを理解する学問領域です。この本は、日々の健康に生かす知恵となることを主眼にして、生理学の知識をかみ砕いて解説した一般向けの生理学入門書です。人体の精巧な仕組みや無駄な機能などを知り、その不思議に感動すること間違いありません。
- (6) 推薦者: 平野勝也 (医学部)

- \*各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
  - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) ウィリアム・ハーヴィ著 岩間吉也訳 (2005 年)『心臓の動きと血流の流れ (Exercitatio Anatomica de Motu Cordis et Sanguinis in Animalibus)』講談社文庫
- (2) 関連する主題: 主題 B-6 (人間と健康を考える生理学)
- (3) キーワード: 医学史、科学史、心臓、循環器
- (4) 難易度: 
- (5) 近代生理学の始まりとされる 1628 年出版の論文の日本語訳です。1000 年以上にわたり信じられてきたギリシア医学の常識を、徹底的な観察と堅固な実験に基づいて覆し、血液は循環するという新しい概念を打ち立てるところが圧巻。現在にも通じ、文理問わず全ての領域に当てはまる科学的態度が読み取れます。専門的と思われる知見や科学史上の意義について訳者が十分な解説を行っています。
- (6) 推薦者: 平野勝也 (医学部)

- (1) 【新】アーロン・アントノフスキー著、山崎喜彦比古、吉井清子監訳 (2001 年)『健康の謎を解くーストレス対処と健康保持のメカニズム』(有信堂高文社)
- (2) 関連する主題: 主題 B-6
- (3) キーワード: 健康、病気、健康生成論
- (4) 難易度: 
- (5) 看護学において人の健康をどのように捉えるかは、難しい課題である。身体的・精神的・社会的健康等いろいろな側面がある。用語は難しいが、発想の転換を含め、様々な視点を当て嵌めながら読んでみると意外と応用できる考え方かもしれない等と想像しながら読んでほしい。
- (6) 推薦者: 松本啓子 (医学部看護学科)